

《Lesson 2》 「疑問詞＋名詞」で始まる疑問文

What / Which / Whose には、名詞を後に足した What ○○ / Which ○○ / Whose ○○と
いった形で使うこともできます。使い方は基本的に “Wh ○○” を1つの疑問詞として文
を作ればOKとなります。

1. What ○○～? = 「何の○○が、～ですか」

<例> What sport do you like? (何のスポーツが好きですか)

*What day is it today? (今日は何曜日ですか)

* What day (of the week) is it today? の略。(意味は「今日は(週の中で)何の日ですか」)

「何月何日ですか」と日付をききたい場合は、What is today's date? となる。

《ポイント》

Monday / Tuesday / Wednesdayと day という言葉が入っているので

「What day ～? = 曜日をたずねる形」と覚える。

2. What time ～? = 「何時に～ですか」

<例> What time do you get up every day? (あなたは毎日何時に起きますか)

*What time is it in Tokyo? (東京は何時ですか)

*場所の時間を聞く場合、主語は「場所の名前」ではなく it を使う。

<例> What time is Tokyo? =× Tokyo is three o'clock. =×

ポイント! 「今、何時ですか」と聞く時

「今、何時ですか」は、“What time is it?” でOK。日本では“What time is it now?”と教わる
ことが多いが、「何時ですか」と聞いている時点で「今の時間を聞いている」ことが分かる
ので now は不要。しかし、待ち合わせで時間が気になる場合など「(さっきも聞いたけ
ど)今は何時?」と「今」を強調する場合は now をつけることもある。

3. Whose ○○～? = 「～は、誰の○○ですか」

- <例> **Whose book** is this? (これは誰の本ですか)
Whose bags are those? (あれらは誰のカバンですか)

ポイント! Whose books are these? と Whose are these books?

Whose books are these? (これらは誰の本ですか) と Whose are these books? (これらの本は誰のですか) は、ほぼ同じ意味で使われる。しかし、ネイティブはどちらかと言うと Whose books are these? を使う傾向がある。

4. Which ○○～? = 「どちらの○○ (どの○○) が、～ですか」

- <例> **Which bus** do I need to take? (どのバスに私は乗る必要があるのですか)
Which computer is old? (どのパソコンが古いのですか) 【主語をたずねる形】
***Which country** do you want to go to? (どの国にあなたは行きたいですか)

ポイント! Which country do you want to go? は間違い

「あなたはどこに行きたいですか？」とたずねる表現は Where do you want to go? です。しかし、Which country do you want to go? は、間違いとなってしまいます。なぜなら、

where は『副詞 (句)』、**which country** は『名詞』として扱われるから

です。「え? どういうこと?」と思われませんか? これは疑問文の作り方を思い出すといいと思います。where や which country といった疑問詞を使った疑問文を作る際、私たちは、

まず『疑問詞の部分』に適切な単語を入れて疑問文を作り、最後に疑問詞に戻す

という方法で文章を作ってきました。

<例: あなたはどこに行きたいですか>

ステップ①: 「疑問詞の部分に適切な単語を入れる。

→ 「あなたはフランスに行きたいですか」で文を作る。

_____ Do you want to go to France? _____

ステップ②: 「疑問詞」に戻す。

_____ Do you want to go **where**? _____

ステップ③: 「疑問詞」を文頭に持ってくる。

_____ **Where** do you want to go? _____

一方で、which country は『名詞』の部分をつねる疑問詞です。つまり、上の例でいきますと、France の部分だけをたづねる形となります。

<例： あなたはどの国に行きたいですか>

ステップ①： 「疑問詞の部分に適切な単語を入れる。

→ 「あなたはフランスに行きたいですか」 で文を作る。

Do you want to go to France?

ステップ②： 「疑問詞」を戻す。

Do you want to go to which country?

ステップ③： 「疑問詞」を文頭に持ってくる。

Which country do you want to go to?

このようにたづねている部分が異なるため、疑問文の形も異なるのです。ただし、

visit の場合は、Which country do you want to visit? となります！

なぜでしょう？これは、

**I want to visit France. (I want to visit to France. =×) のように、
visitの後に to が入らないから**

です。難しいところですが、しっかり覚えておきましょう！

ポイント！ What color do you like? と Which color do you like?

What color do you like? (何の色があなたは好きですか) と Which color do you like? (どの色があなたは好きですか) は、ほぼ同じ意味で使われる。しかし、一般的に「which は選択肢が限られている (例えば、目の前にある絵具の中から選ぶなど) 時」に使われるイメージがあるのに対し、what は「特に選択肢が制限されていない時」に使われるイメージがある。また、答えが複数ある (今回だと「好きな色が複数ある」) と予想できる場合は〇〇を複数形 (今回だと colors) にすることも可。

<例> 何の色があなたは好きですか。

【答えが1つと予想できる場合】 What color do you like?

【答えが複数と予想できる場合】 What colors do you like?

どの色があなたは好きですか。

【答えが1つと予想できる場合】 Which color do you like?

【答えが複数と予想できる場合】 Which colors do you like?